

## 近畿本部 情報工学部会 3月度例会の案内

- ◇日時：2023年3月11日（土）14時00分～17時00分
- ◇場所：Web 中継にて実施
- ◇会費：日本技術士会会員・準会員(500円)，協賛団体会員(500円)，  
未入会者(1,000円)，学生(無料)
- ◇申込みWeb：<https://jyouhou.ipej-knk.jp/wp/>  
上記 URLのイベント開催日から申込み下さい。

### <プログラム>

(Zoom ミーティングルームには 13:55 以降、入室可能となります)

1. 諸連絡 14:00～14:10
2. 講演1 14:10～15:25 小林 健了 氏 (電気電子部門、総合技術監理部門)  
『COVID-19を受けた働き方、コミュニケーションの変化に対する考察』

#### (概要)

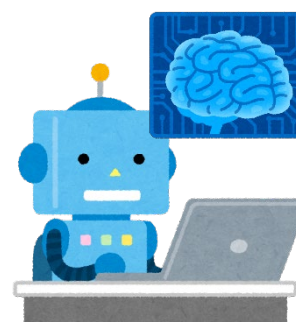
2020年からのCOVID-19の感染拡大を受け、テレワーク導入などにより、我々の働き方は急速に変化していった。急速な変化の中、働き方のみならずコミュニケーションの在り方にも新たな課題が発生し、試行錯誤のなか事業活動が行われている。本発表では、COVID-19による働き方の変化、電子メール、会議、内線電話などの企業内コミュニケーションに関する状況を概観した上で、テレワークにより生じた課題やその対応状況にも触れる。さらに、テレワークを受けた技術的な対応内容についても解説する。



3. 講演2 15:35～16:50 大川 哲男 氏 (情報工学)  
『RPAをプログラミング言語で開発 (Pythonを利用したRPA) 』

#### (概要)

RPA (ロボティック・プロセス・オートメーション) は、ソフトウェアロボットにより業務プロセスを自動化する技術である。近年、各企業ではRPAの導入が進んでおり、そのツールを利用することが多く見受けられる。しかし、プログラミング経験者においては、RPAツールの使い方を学習するよりもPythonやVBAなどのプログラム言語で開発した方が速いのではないかと疑問を抱く。その疑問に対して、実際にPython言語を用いてRPAアプリケーションを作成し、効率よく開発できるのかを検証してみた。今回、上記の構築手順を紹介し、検証結果と留意点などについて述べる。



◇問合せ先メールアドレス：info@jyouhou.ipej-knk.jp

4月の月例会は 8日(土)  
対面+Webのハイブリッド開催を予定しています。

